

新たな学校の校歌・校章の制作について

統合後の新たな学校で使用する校歌・校章の制作について、検討を行います。今回は制作依頼先について、現在の検討状況を共有させていただきます。

1 現在の両校の校歌・校章について

(1) 校歌

薬師中学校校歌 作詞 校歌制定委員会 作曲 上田 進 一 みどりに映える 薬師の丘に 光あふれる 学舎よ つどう友垣 希望にみちて ともに鍛えん 心とからだ 強く正しく たくましく われらが母校 薬師中学 二 清らに咲ける ききょうの校庭に 美しい心 みがきつつ ひとりひとりの 学舎なしとげん 若き生命は 力の限り 新しき道 ひらきゆく われらが母校 薬師中学	金井中学校校歌 作詞 高田 敏子 作曲 小林 研一郎 一 空 ひろびろ 朝雲ひかる 真白い校舎 かがやく母校 きみも ぼくも かがやき満ちて 学ぼう 日々に 未来への知識を 新しい世界にとどく 若い光 若い光 金井中学校 二 空 ひろびろ 緑葉そよぐ のぼる坂道 歩みもかるく きみも ぼくも 希望に満ちて 進もう 日々に すこやかな心を 新しい文化を開く 若い光 若い光 金井中学校 友の励まし わが師の導き 愛に満ちて学ぶ ゆたかさ 新しい理想を 若い光 若い光 金井中学校
--	---

(2) 校章

学校名	校章	由来
薬師中学校		薬師堂の「桔梗」の花弁と一二本の剣を組み合わせた紋章を参考にしている。薬草の桔梗の五弁に、薬師堂の紋章にある剣を「Y」字形に組み、「中」は桔梗の心髄に見立てている。 徽章の色は、桔梗の五弁が青紫、剣は銀で、「中」が金、五弁には金線の縁どりがしてある。
金井中学校		公募作品から選定した作品を相田雅子（美術科教師）が修補して決める。 金井のイニシャル「K」と、輪郭は中学校の「中」を象り、地の濃紺色は「知」、輪郭は「徳」、頭文字の「K」は「体」を、全体として未来に躍動する様子を表現している。 また、金井の地に昔から伝わる獅子舞（無形文化財）の、その獅子の横向きの姿をも表現している。

2 制作スケジュールについて

まずは制作手法の検討を行い、その後制作依頼先を検討していきます。本日の検討会ではこの後、事務局で想定している制作手法の案をお示しし、ご意見を伺います。いただいたご意見をもとに、両校長と事務局で協議のうえ制作手法及び依頼先を決定し、9月に開催する検討会でご報告します。

また、学校名候補の市教委選定案が決定した2026年12月から「校歌に含めたい単語・フレーズ」や「校章に含めたいもの・イメージ」についての意見募集を実施します。校歌・校章ともに制作の際にはその意見募集の結果も踏まえて制作します

完成時期については、校歌は2027年11月末、校章は校旗の制作の兼ね合いから2027年9月末を目途にしています。

その後、2028年3月頃にお披露目会を開催する予定です。

	2026年						2027年												2028年				
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
校歌	制作手法 検討			制作者 調整			制作											完成	行政 報告 等			お披露 目会	使用 開始
							意見募集																
校章							制作・デザイン補正等											完成					

3 制作手法について

校歌・校章について、制作手法は次のとおり想定しています。

校歌については作詞・作曲が連携しながら制作を進める必要があることから、作詞・作曲ともに共通の依頼先に依頼できることを条件に検討する必要があると考えています。

また、校章については、最終的なデザインの補正を専門の事業者に依頼することで、校歌よりも幅広い制作手法の検討が可能であると考えています。

なお、①～③のように制作を依頼する場合においては、町田市や、薬師中学校と金井中学校の両校に所縁のある方に依頼できることが望ましいと考えており、そうした観点から依頼先を検討していきます。

	手法	メリット	デメリット	校歌	校章
①	専門家への依頼	• 成果品の質が高水準で担保される • 制作に慣れておりスムーズ	• 委託費が高額な場合が多い • 意見募集等の実施について、事前の調整が必要	○	○
②	教職員への依頼	• 地域や学校の実情を知っている	• 教職員の負担が大きい	○	○
③	大学連携	• 生徒たちに近い年齢の学生が制作に携わることによって、親しみやすい • 地域に根差した大学と連携することで、地域の活性化にもつながる	• 学生や教授のスケジュールによって、制作スケジュールに制限が生じる	○	○
④	公募	• 地域や生徒の意見を活かして制作が可能	• どれだけの応募があるか不透明 • デザインの補正が必要 • 最終的に一人の意見が採用されることになる	×	○
⑤	在校生の 共作 (美術部等)	• 複数の生徒の意見を活かして制作が可能	• 生徒及び引率教員の負担増 • デザインの補正が必要	×	○

(参考) 第 1 期での校歌・校章の制作手法

学校名	校歌	校章
本町田ひなた小学校	大学連携	大学連携
成瀬小学校	専門家への依頼	大学連携
鶴川中央小学校	専門家への依頼	専門家への依頼